

第3回県立丹波並木道中央公園あり方検討会における委員意見

資料 1

No,	大分類	小分類	意見要旨
1	自然環境 保全	ゾーニング図	<ul style="list-style-type: none">・ゾーニング図Bは森の円卓会議で議論することで新たな項目が加わる可能性があるとの認識である。（澤木会長）・春になり温暖になってきたため、改めて園内を散策し、新たにゾーニング図に追加できるものがないか確認したい。（角谷委員）
2	活性化	公園施設の新設、改廃に関する合意形成・情報発信のルール設定について	<ul style="list-style-type: none">・森の円卓会議等への説明、報告は時期的な要件（1 か月前から等）は設けないのか。（谷垣委員）・管理運営協議会にあたる協議体は、本公園では森の円卓会議だが、その説明の文言を追記しても良いのではないかと。（澤木会長）
3	提言書骨子（案）		<ul style="list-style-type: none">・丹波篠山市ならではの特色や強み、問題点等が反映されたものになっていない。実際のイベントや地域の取組み（篠山国際博や桜まつり等）での本公園の立ち位置を理解し、どういった公園を目指すのかについて整理することが重要である。（北川敦雄委員）・黒豆や篠山茶等の食に関するものをPRすることで、丹波篠山市ならではの特色を出すことができ得る。（北川敦雄委員）・恐竜も丹波篠山市ならではの特色を出す手法の1 つである。（澤木会長）・公園区域外ではあるが、本公園の隣を流れる篠山川付近で化石等を絡めた様々な学習活動の実施も考えられる。県が管理する河川と公園で連携できれば、活動の幅が広がる。市や他団体との連携も意識すべきである。（澤木会長）・公園の魅力が十分に発信できていない。公園に足を運んでもらえる工夫に加え、公園の奥にまで足が向くような工夫があればよい。（角谷委員）・雨の日も遊べる全天候型の施設や、恐竜や自然が学べるものがあればよい。本公園はきちんと整備されているので、自然に触れるきっかけを提供する場になればよい。（北川美佳委員）・施設や地域全体の活性化の担い手となる可能性がある人々と、一緒に考え、実現へとつながる仕組みがあればよい。ただ管理事務所等の負担が大きいと継続は難しい。（谷垣委員）・骨子案の⑤提言について、自然環境保全と活性化の区分に、その他を追加しても良いのではないかと。ベンチや休憩所がほしい等の意見、提案についても、公園が使いやすくなるための意見という意味で提言に入れても良いのではないかと。（澤木会長）
4	その他		<ul style="list-style-type: none">・丹波篠山に梅を案内できるエリアがあればよい。本公園には何本か植えられているので、問い合わせがあった際には案内している。（北川敦雄委員）